

## Ⅱ-3-2) ELNEC-J コアカリキュラム 看護師教育プログラム研修

1. 目的 医療施設や地域において、積極的に緩和ケアを推進していくうえで、看護の中心的役割を担う専門性の高い看護者を養成する
2. 目標 (1) 誰もが一人の人間として、その人らしく、心豊かな生を全うできるための、質の高い看護を提供できるように学習する  
(2) 系統的、包括的にエンド・オブ・ライフ・ケアを学び、実践に活かすことができる
3. 開催期間 平成30年8月22日(水)～平成30年9月20日(木)間の4日
4. 受講要件 平成24年度までに緩和ケアアドバイザー養成研修を修了している者。  
4日間を通して受講できる者。  
エンド・オブ・ライフ・ケアに関心がある者。
5. 修了証 4日間修了者に修了証明書を発行する。
6. 募集人員 20名(応募者多数の場合は制限あり)
7. 受講料 島根県看護協会会員 12,000円・非会員 24,000円
8. 申込方法 申込書-1に必要事項記入のうえ送付ください。
9. 申込締切 平成30年6月20日
10. 申込先 公益社団法人 島根県看護協会

◎研修時間 9:30～16:00 (講師等の都合により変更することもあります)

開催月日	研修科目	ELNEC	ねらい	内容	時間数	講師名
8/22(水)	EOLにおける看護	M1	・緩和・EOL看護の基本を学ぶ		1	島根県立中央病院 小松 歩美 浜田医療センター 竹元 千恵
	痛みのマネジメント	M2	・がん患者の疼痛マネジメントに関する具体的な理論と方略を学ぶ。(疼痛のメカニズム、疼痛アセスメント、がん性疼痛緩和のためのケアなど)		1.5	
	症状マネジメント	M3	・がん患者の症状マネジメントに関する具体的な理論と方略を学ぶ。(呼吸器症状や消化器症状などについてのアセスメント、症状緩和のためのケアなど)		1.5	
	事例検討	M2・3	演 習		1.5	
8/25(土)	EOLにおける倫理的問題	M4	EOLにおける倫理的ジレンマと対応を学ぶ ・生命の尊厳と生命倫理 ・倫理的問題への対応 ・意思決定への支援		5.5	京都大学大学院医学研究科 竹之内沙弥香
9/11(火)	EOLにおける文化への配慮	M5	・エンド・オブ・ライフ・ケアに影響を及ぼす文化的側面について概観する ・患者や家族、および医療スタッフ間のコミュニケーションを図り、文化に配慮したケアを行うために必要なアセスメントについて学ぶ		1.5	島根大学医学部附属病院 三吉由美子
	(がん患者との)コミュニケーション研修：患者の意思決定を支えるために	M6	患者や家族と良好な人間関係を築き、患者や家族の状況に応じて、適切なコミュニケーションを図るためのスキルを学ぶ		4	島根県立大学 平野 文子

開催月日	研修科目	ELNEC	ねらい	内容	時間数	講師名
9/20(木)	喪失・悲嘆・死別	M7	・喪失や死別の伴う心理的反応を理解し、サポートの方法を学ぶ ・家族の悲嘆について学ぶとともに、看護師自身の悲嘆についても考える		1	松江市立病院 吉本 歩
	臨死期のケア	M8	・死を迎える患者とその家族へ、最善のケアを提供するために必要な事柄を学ぶ		1.5	
	13:00～15:00 高齢者看護における緩和ケア	M9	高齢者（認知症含む）の尊厳ある生を支援するために、老人看護の視点から緩和ケアを学ぶ。	・高齢者の終末期ケアにおける諸問題と支援（認知症を含む） ・高齢者支援と社会資源	2	松江赤十字病院 内部 孝子
	15:15～16:15 質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアの達成	M10	質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアを達成するために、一人ひとりの看護師が臨床の中で果たす役割を理解する		1	島根県立中央病院 小松 歩美